

津市火災原因損害調査事務取扱要領

平成 18 年 8 月 25 日

(趣旨)

第 1 条 この要領は、津市火災原因損害調査要綱（平成 18 年津市消防本部訓第 36 号。以下「要綱」という）によるもののほか、火災原因損害調査の事務処理について必要な事項を定める。

第 2 条 削除

(調査書類の省略)

第 3 条 火災原因損害調査書類は、要綱第 36 条に定める様式により作成しているところである。しかし、数多い火災の中には、火災という次元は同じであっても、その内容によって要綱第 36 条に定める様式により記録作成しても結果的には、手数がかかり実益の少ないものがある。このため、調査書類の一部を省略し、事務量の軽減を図るものである。なお、調査書類の一部を省略しただけのもので、現行の調査方法や本来の原則である要綱を無視するものではない。

(1) 要綱第 36 条に定める様式により書類作成する火災

- ア 建物焼損床面積がおおむね 50 平方メートル以上の火災
- イ 全焼又は半焼の建物がおおむね 1 棟以上の火災
- ウ 全損又は半損の世帯がおおむね 1 世帯以上の火災
- エ その他署長が必要とする火災

(2) 前(1)以外の火災については、火災原因判定書（第 16 号様式）に、次に掲げる事項を記載する。

- ア 現場の位置及び付近の状況
- イ 現場の模様
- ウ 出火箇所及び付近の焼き状況
- エ 関係者の証言
- オ 関係物件（必要な場合に限る）
- カ 原因の判定
- キ その他必要な事項

(3) 車両、枯れ草、電柱、その他の火災で、後日問題又は継続となる案件を含まず、原因が明らかなものは、原因の判定だけを日時、場所、主体、原

因、客体、状態の 5 W 1 H に基づき、記載することができる。

(4) 前(1)以外の火災については、別表中、5 から 7 まで及び 1 6 の書類を添付しないことができる。

(5) 上記(2)、(3)に基づく記載例は別添を参照のこと。

(調査書類の編纂)

第 4 条 要綱第 3 6 条に定める添付書類の編纂順序は別表に定めるとおりとする。

附 則

この要領は、平成 1 8 年 8 月 2 5 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 3 0 年 4 月 1 日から施行する。

別表（第 4 条関係）

火災原因損害調査報告書編纂順序

- | | |
|----|--------------------------------------|
| 1 | 火災原因損害調査報告書（第 2 1 号様式） |
| 2 | 火災原因損害調査報告書（第 2 1 号様式附紙） |
| 3 | 火災原因判定書（第 1 6 号様式） |
| 4 | 付近見取図（任意様式）、現場配置図（任意様式） |
| 5 | 火災出場時における見分調書（第 2 号様式） |
| 6 | 現場見分調書（第 3 号様式） |
| 7 | 現場平面図（任意様式）、現場焼損図（任意様式） |
| 8 | 写真撮影報告書（第 4 号様式、第 4 号様式の 2） |
| 9 | 写真保存袋（第 5 号様式） |
| 10 | 資料提出命令書（第 8 号様式） |
| 11 | 資料提出書（第 9 号様式） |
| 12 | 資料保管書（第 1 0 号様式） |
| 13 | 鑑定等依頼書（第 1 4 号様式） |
| 14 | 鑑定等の結果調書（第 1 3 号様式） |
| 15 | 鑑定等処分承諾書（第 1 5 号様式） |
| 16 | 質問調書（第 6 号様式） |
| 17 | 火災損害調査書（第 1 8 号様式、第 1 8 号様式の 2 から 5） |
| 18 | 損害額計算書（任意様式） |
| 19 | 建物等不動産り災申告書（第 1 7 号様式の 1） |
| 20 | 収容物り災申告書（第 1 7 号様式の 2） |
| 21 | 車両・船舶・航空機り災申告書（第 1 7 号様式の 3） |
| 22 | 立木・その他り災申告書（第 1 7 号様式の 4） |
| 23 | 負傷者調査書（第 1 9 号様式） |
| 24 | 死者調査書（第 2 0 号様式） |

第 16 号様式（第 24 条関係）

火災原因判定書

氏 名 ○○ ○○ (印)

3 出火箇所及び付近の焼き状況

[illegible]

第 16 号様式（第 24 条関係）

火災原因判定書

出火原因断定の場合 の記載例

判定者 所 属 ○○消防署
階 級 消防司令
氏 名 ○○ ○○ (印)

平成〇〇年〇〇月〇〇日、津市〇〇町〇〇において発生した〇〇火災の原因を、本職は、次のとおり判定しました。

火災原因損害調査事務取扱要領第3条(3)に基づく

本火災は火災規模が比較的小規模で、かつ出火原因も判明していることから、出火原因の判定に係る調査以外の記述はすべて省略する。

1 出火原因について

【いつ】平成〇〇年〇〇月〇〇日〇曜日午前〇時〇〇分頃、【どこで】津市〇
〇町〇〇番〇〇号の道路上において【誰が】津市〇〇町〇〇番〇〇号、氏名、生
年月日、職業、が【何を】〇〇〇〇を【何のために】〇〇〇しようと【どのよう
に】〇〇〇中に〇〇〇したため〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
断定する。

以上

第 16 号様式（第 24 条関係）

火災原因判定書

出火原因がほぼ断定 に近い推定の場合の 記載例

平成〇〇年〇〇月〇〇日、津市〇〇町〇〇において発生した〇〇火災の原因を、本職は、次のとおり判定しました。

本火災は火災規模が比較的小規模で、かつ出火原因がほぼ断定するに等しい供述が得られていることから、出火原因の判定に係る調査以外の記述はすべて省略する。

(3) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

【いつ】平成〇〇年〇〇月〇〇日午後〇〇時〇〇分頃、【どこで】津市〇〇町〇番〇〇号において【誰が】津市〇〇町〇〇番〇〇号、氏名、生年月日、職業、が【何を】〇〇〇〇を【何のために】〇〇〇しようと【どのように】〇〇〇中に〇〇したため〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇したものとして推定する。

以上